

加賀友禪作家 浅野富治男氏（連絡先：090 - 1314 - 9900）

創作加賀友禪絵本 二作携えて唐丹町訪問



加賀友禪作家 浅野富治男さんは、東日本大震災 2 年目に当たる 2012 年 4 月、自作の木彫り兎 500 個を持って被災地を訪問し、出会った人々に「木彫り兎」を指導するなどして、20 日間ほど滞在しました。その間、唐丹小中学校を訪問し、「元気に育ててほしい」との思いで、子供たち全員に 300 個（1 人 2 体）の兎を送り、金沢に帰りました。

2022 年 6 月 23 日、震災当時の事を思い浮かべ、出来れば、唐丹の生徒さんと共に木彫りの兎を作る（一部の作業だけでも・・・）機会を作れないかとの思いで、10 年ぶりに唐丹小学校を訪れました。ところが、あいにくのコロナ禍で、生徒さんとの接触はおろか、学校の中にも入れず、校長先生と玄関での挨拶のみでした。（6 月 23 日 浅野富治男）

この経緯を知った、唐丹町片川に住む河東智子さん（主任児童委員）が地区の健康教室の後、浅野氏の作品鑑賞と創作友禪絵本の読み聞かせ会を企画し、浅野氏をお迎えしました。

「浅野富治男さんの作品鑑賞と創作友禪絵本の読み聞かせ会」

日時 2022 年 6 月 30 日 午前 11 時から

場所 釜石市唐丹町片岸 片川集会場 問い合わせ：河東智子（080 1824 0411）

内容

◆友禪創作絵本の読み聞かせ

- 1、『パンダ林のさかさま池』
- 2、『赤い鳥の話』

「友禪絵本について」・・・この創作絵本は切り絵仕立てでスケッチブックに描いていたものを、この度の唐丹訪問のために、友禪染めで表現しました。今回、初公開となります。

この絵本を通し、子供たちに物語の面白さと同時に、日本の伝統工芸「加賀友禪」の奥深さを感じてもらいたいとの思いで仕上げた、渾身の作品です。

◆加賀友禪暖簾 7 本・タペストリー 3 本

これらは、自分の家族（孫子）の為に自分の仕事を残すために作ったものを展示します。

◆「木彫り兎の物語」

還暦を機に身近にあったカッターナイフを使って、3 cm 角の木片で兎を彫ってみた。1 年半が経ち卯年になり、そろそろ、人前に・・・と思っていた時、東日本大震災が起きた。約 1 年後、復興の願いを込めて 500 個程の兎を持って、子供達や出会った人たちに渡したのが物語の始まりとなった。（2012 年 4 月、300 個の兎が唐丹小中学校の子供たちに渡りました。）今回、木彫り兎に緻密な線で描いた「友禪柄」の着物を着せた兎のストラップを持参しました。



【推薦の言葉：唐丹希望基金 高館千枝子】

6 月 24 日、10 年ぶりに浅野富治男さんと再会。10 年前、東日本大震災被災地を石川県金沢市から軽自動車に溢れるほどの「木彫り兎」を詰めて唐丹小中学校を訪問していただき、入学式に参列したことが昨日のことのように思い出しました。この度、初めて、浅野さんの友禪染の作品を見せていただきました。特に「友禪絵本」はその絵の素晴らしさに感動しました。素晴らしい作品を多くの人に見ていただきたいと思います。

あさの ふじお 浅野 富治男 略歴

- 昭和 24 年 石川県羽咋市はくいしに生まれる。
- 43 年 石川県立羽咋高等学校卒業、百貫俊夫氏に師事し、友禅業界に入る。
- 47 年 浅野染工房として独立。
- 石川県現代美術展 初入選（日本画）
- 以後、入選 5 回、受賞 1 回
- 52 年 欧州 7 か国 3 週間の写生旅行。（ギリシャ、オーストリア、イタリア、スイス、フランス、
スペイン、イギリス）
- 53 年 加賀染協議会にて知事賞。以後、受賞 2 回。
- 56 年 日本伝統工芸展初入選。
- 58 年 日本伝統工芸染織展初入選。
- 平成元年 日本伝統工芸染織展 金沢市長賞。
- 2 年 献上短冊箱 内張り 5 点作成。
- 13 年 羽咋市文化会館で陶芸家と二人展。
- 19 年 日本橋ギャラリー「フロールエバー」でフラワーデザイナーと二人展
他 個展、工房展など 5 回。
- 21 年 木彫り兎作成開始。
- 24 年 東日本大震災被災地慰問。
- 26 年 東日本大震災被災地 2 回目の訪問。